

関西広域連合管内のドクターヘリにおける整備措置事案について

令和 6 年 8 月 22 日

広域医療局

関西広域連合管内のドクターヘリにおける整備措置事案について、構成府県のドクターヘリ担当課長から構成する「再発防止対策チーム」において、次のとおり、再発防止策のフォローアップ等を行った。

1 「再発防止対策チーム」の活動状況

- 7 月 10 日 第 4 回会議開催
- ・ ヒラタ学園から再発防止策の実施状況を聴取
- 8 月 6 日 ヒラタ学園において現地確認
- ・ 整備管理システムの導入状況や予備品の確保状況等
- 8 月 9 日 第 5 回会議開催
- ・ ヒラタ学園から再発防止策の実施状況を聴取
 - ・ 現地確認結果を情報共有

2 再発防止策の実施状況

状況聴取・現地確認により、再発防止策が適切かつ確実に実施されていることを確認した。

再発防止策の対応状況

学校法人ヒラタ学園

令和6年8月9日

○現在の再発防止策の対応状況（安全管理体制の不備への対応）

	安全管理体制の不備への対応	対応状況
1	事案発生時は安全統括管理者も原因究明や対策に必ず参加	新安全統括管理者を筆頭に実施中
2	整備、運航のデイリーレポートの提出（航空局へも共有）	航空局へデイリーレポートの共有実施中
3	機長報告書と安全報告書を同時に提出できる体制を作り迅速な報告システムの構築	様式の改訂により対応済み
4	整備管理業務の外部支援（整備管理システムの再構築、整備管理部門の職員の業務負担軽減）	R6.7.1より航空機整備管理システム会社からの外部支援開始済み 8月から神戸にて支援開始
5	内部監査の強化	令和6年6月26日に内部監査要員へ運航規程、整備規程、安全管理規程の教育実施済み
6	オペレーション室の創設	令和6年6月27日よりオペレーションチームを置き暫定運用中
7	学園内の体制再構築（関係職員の処分）	関係職員への処分（降格又は交代）実施済み
8	経営者の権限の委譲	令和6年6月27日より、航空事業本部長へ権限付与済み

○現在の再発防止策の対応状況（安全意識、コンプライアンスの欠如への対応）

	安全意識コンプライアンスの欠如への対応	対応状況
1	社内講師による組織の実態を踏まえたコンプライアンス教育の実施	2024年6月4日～6月7日（各部課長） ※済み 2024年6月21日～6月26日（一般職員） ※済み 2024年6月21日～6月26日（整備部整備士） ※済み 2024年6月21日～6月26日（運航部操縦士） ※済み
2	外部講師を招き全職員を対象としたコンプライアンス教育を受講予定	2024年6月26日（経営層） ※済み 2024年7月 8日～7月12日（全職員） ※済み 2024年10月1日～11月30日までの間の1日（経営層） ※計画 2024年10月1日～11月30日までの間の1日（全職員） ※計画 2025年2月1日～3月30日までの間の1日（経営層） ※計画 2025年2月1日～3月30日までの間の1日（全職員） ※計画

○現在の再発防止策の対応状況（不十分な予備品等の確保等への対応）

	不十分な予備品等の確保等への対応	対応状況
1	予備品確保の充実（通年運航に必要な予備品の確保及び過去不具合事例等から消耗品や重要装備品の確保量を検証し、現地及び神戸本社で配置）	7月上旬、約6千万円相当の部品等を発注済み 追加で1千万円相当の部品を発注済み
2	MELMANIUAL（運用許容基準）の適切な運用（運航規程、整備規程の改訂また新規設定により、MELの適正運用を行う）	BK117D-2の新規設定、 EC135の改訂準備中 改訂準備中
3	現在のDH駐機場所の整備基地化等の整備	資機材選定、リソース確保、準備中 必要工具選定し予算申請中
4	ノートPC、タブレットの配布	機種・台数・社内システムへのアクセス方法 検討し、予算申請済み 納入済み。現在セットアップ中
5	予備機の確保	整備計画の見直し中
6	品質管理課の設置	令和6年6月27日より兼任から専属へ対応済み
7	整備士のリソースの確保（業務量の把握・調整、採用、整備管理システム導入、耐空検査の外注化）	業務計画作成、規程類改訂、一部外部委託先等準備中
8	整備規程の改訂	不具合発生時の記録作成基準等整理中

再発防止策に係る現地確認について（報告）

8月6日、広域医療局において、ヒラタ学園の再発防止策に係る対応状況について、次のとおり現地確認を行った。

1 再発防止策に係る対応状況について

事案発生の主な原因に沿った、再発防止策に係る対応状況について、ヒアリングや書類確認を行った結果は、次のとおり。

（１）安全管理体制の不備への対応

- 整備管理業務の効率化に向け、専門業者の支援を受けながら、「整備管理システム」を構築中であることを確認
- ドクターヘリに関する整備等の情報の把握・管理を行う、「オペレーションチーム」を設置し、運営されていることを確認

（２）安全意識・コンプライアンス意識の欠如への対応

- 安全意識の徹底及びコンプライアンス教育の実施
- 外部講師を招き全職員対象としたコンプライアンス教育の実施

（３）不十分な予備品等の確保等の対応

- 過去の交換データに基づき、発注した「予備品」が一部納品されていることを確認
- 格納庫を有する「ドクヘリ基地の整備基地化」に向け、基地に設置する資機材の選定など、順次準備中であることを確認
- 「整備士の採用」や機体の耐空検査を「外部発注」し、整備士リソースの確保に向けた取組みがなされていることを確認

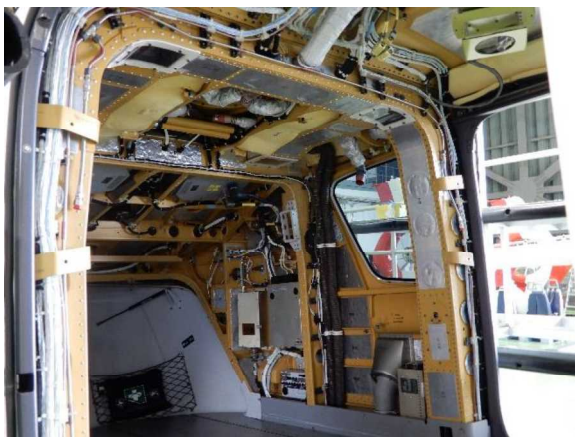
2 現地の状況



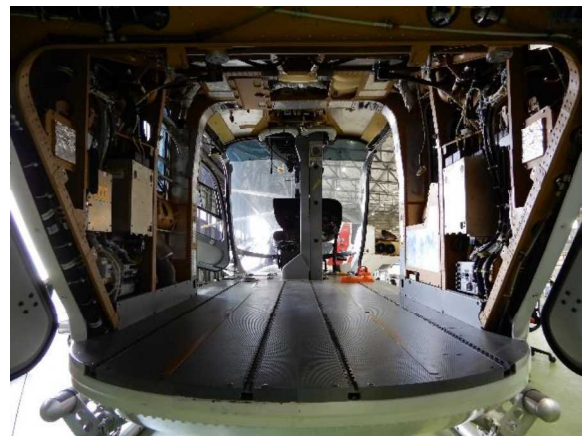
ドクターヘリ整備場



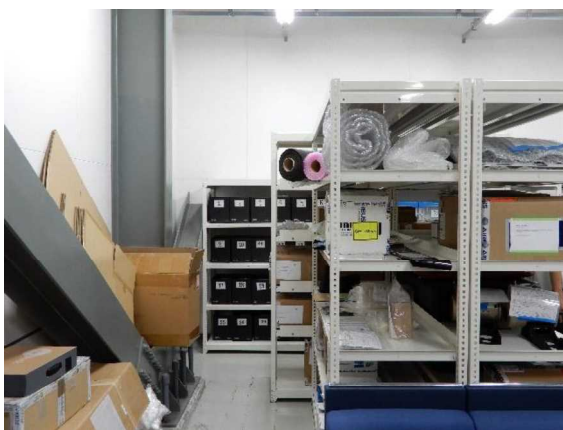
整備中のドクターヘリ（前方）



整備中のドクターヘリ（内部）



整備中のドクターヘリ（後方）



予備品の状況（全体）



予備品の状況（追加分）